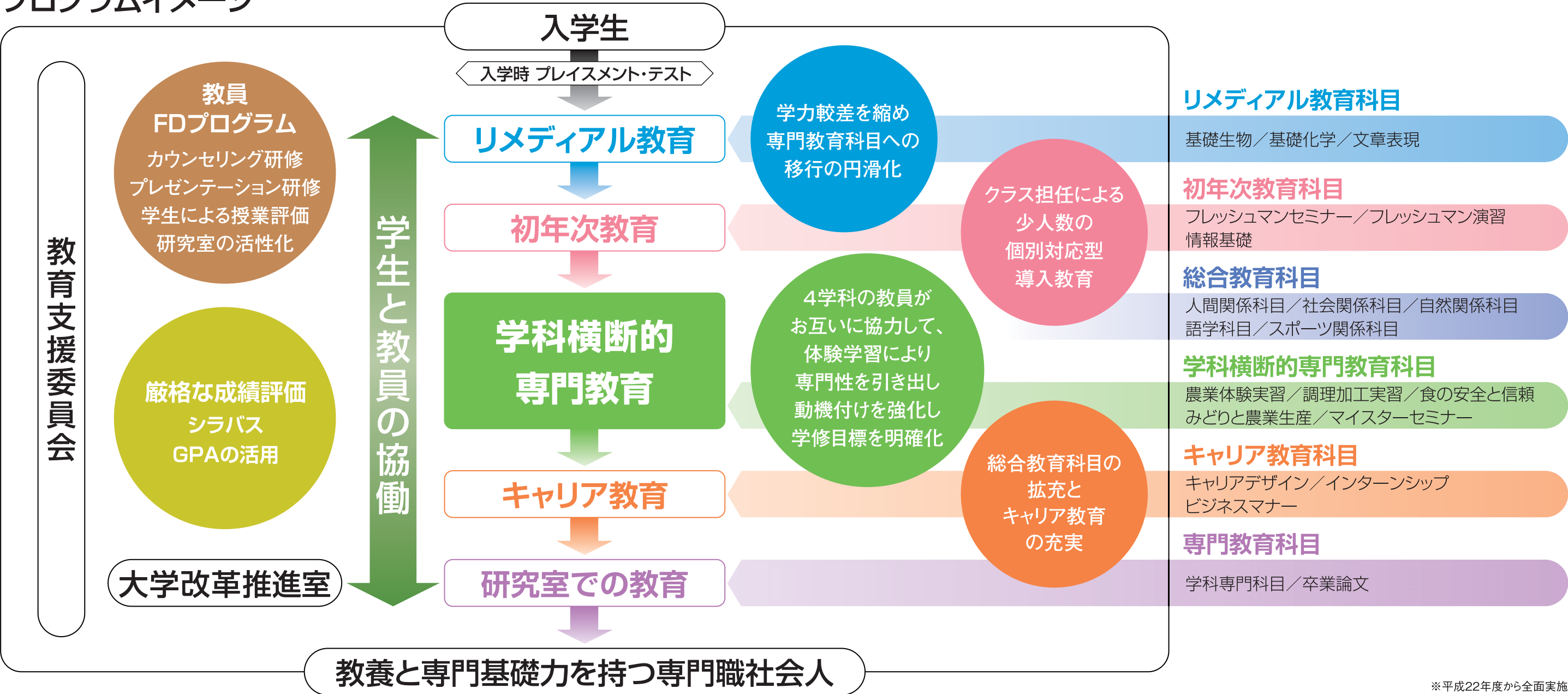


平成20年度文部科学省
質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)採択事業

学生と教員の協働による
学科横断的実学教育

本学が考える『協働』とは、学生が自分の学びたい内容を教員と協議・決定し、自ら積極的に学ぶ喜びを体感すること。
充実した2年間の学生生活で、より広い見識を持った生産者や技術者を育成します。

カリキュラムの特徴
プログラムイメージ



東京農業大学短期大学部

生産

生物生産技術学科

動物と植物の生産を有機的に結合し、地球環境の保全にも配慮した生物生産体系の確立を目指して、講義と実験・実習・演習を連動させた特色あるプログラムによる実学教育を行うことにより、実践的な専門知識と教養を兼ね備えた専門職社会人として社会に貢献できる人材を養成する。

環境

環境緑地学科

人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与しうる行動力のある人材を養成する。

食品

醸造学科

実学主義に基づいた実験・実習・演習科目を重視したカリキュラム構成であり、基礎学力の向上とともに最新科学技術と我が国伝統の醸造技術とを総合的に学ぶ点を特徴としている。これらを基に、醸造食品業界をはじめとする社会の様々なニーズに即応可能な実践力を有する人材を養成する。

健康

栄養学科

建学の精神である実学と自治を根幹とし、国民一人一人が心身ともに健康で豊かな生涯を送れるように、食生活の改善や運動を通して、心と体の健康づくりに貢献する栄養士を養成する。また、食料の生産から加工・流通・消費及び栄養までの幅広い知識を習得させることにより、食の専門家を養成する。

新しい自分を発見し、自己実現。 充実した2年間の学生生活。
専門職社会人への基礎づくり。東京農業大学短期大学部